

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-173972

(43)Date of publication of application : 26.06.1998

(51)Int.Cl.

H04N 5/225

G03B 11/04

(21)Application number : 08-335779

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 18.12.1996

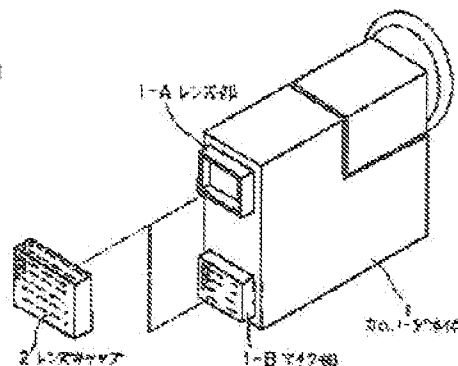
(72)Inventor : IWASAKI AKIO

## (54) VIDEO CAM CODER SYSTEM

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a member which is not an obstacle in photographing by covering a lens with the member as a lens cap unless a photograph is not taken, and covering a microphone and preventing a peeping sound in photographing.

**SOLUTION:** A lens cap 2 is formed by adhering and fixing a buffer material such as sponge inside a member which is formed by molding, etc., and has several holes for air ventilation or a member which is formed by weaving metal into a metal net by using nonwoven fabric such as felt. A user covers a lens part 1-A with the lens cap 2 while carrying a video cam coder main body 1 and puts it before a microphone part 1-B at the time of photography to take a picture without being troubled about a peeping sound even in case of photography in the presence of a strong wind and without worrying about where the lens cap 2 is kept.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-173972

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月26日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

H 0 4 N 5/225

G 0 3 B 11/04

識別記号

F 1

H 0 4 N 5/225

G 0 3 B 11/04

F

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平8-335779

(22) 出願日

平成8年(1996)12月16日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 岩崎 彰夫

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ

ノン株式会社内

(74) 代理人 弁理士 丹羽 宏之 (外1名)

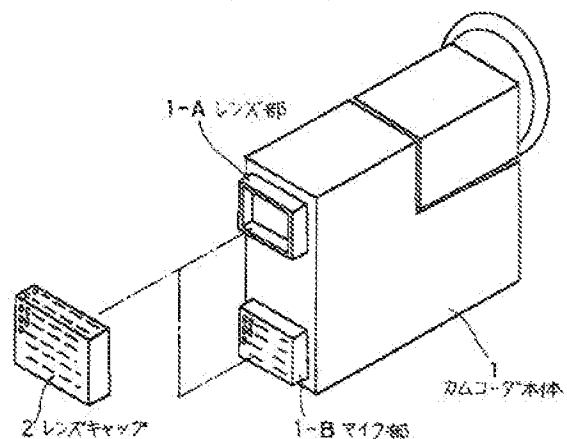
(54) 【発明の名称】 ビデオカムコーダシステム

(57) 【要約】

【課題】 カメラ一体型ビデオカムコーダにおいて、撮影時に、レンズ部1-Aから取り外したレンズキャップが邪魔になることなく、また、マイク1-Bの風切り音防止用にも効果的に使用し得る手段を提供する。

【解決手段】 このため、網体に穴や溝の開いた物体、もしくは網状の物体と、スポンジ等の緩衝材やフェルト等の不織糸とから成るレンズキャップ部材2を、撮影時にはマイク部1-Bの前を覆い、撮影時以外はレンズ部1-Aを覆う部材として使用できるよう構成した。

- 実施例のカムコーダ本体の斜視図



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラ一体型ビデオカムコーダにおいて、撮影時にはマイクロホンの前を覆う部材となり、撮影時以外はレンズの前を覆う部材となる部材を有することを特徴とするビデオカムコーダシステム。

【請求項2】 前記部材は、剛体に穴や溝の開いた物体もしくは網状の物体と、スポンジ等の緩衝材やフェルト等の不織系とから成ることを特徴とする請求項1記載のビデオカムコーダシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、ビデオ一体型カムコーダのレンズキャップ及びマイクロホン（以下、“マイク”と略称する）に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、この種のレンズキャップは、撮影時には不要の物であり、甲当てベルト等に差しておくか、本体内に収納するかしていた。

【0003】 またマイクの風切り音に関しては、スポンジ等の緩衝材やフェルト等の不織系を外装とマイクエレメントとの間に付けて、マイクエレメントに直接風が当たるのを防ぐか、電気的に周波数帯域の低域側をカットするなどして対策をとっていた。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、レンズキャップを甲当てベルト等に固定するのは撮影時邪魔になることが多く、また甲当てベルトから外れて紐でぶらしているのも邪魔になることが多かった。

【0005】 一方、風切り音防止用にスポンジ等の緩衝材やフェルト等の不織系をつけて本体内に格納するにはスペース上の問題があり、防止に十分な物がつかない場合が多かった。またスポンジ等で作った別部材をマイクの上に被せて取り付けるタイプでは、外部にスポンジ部が剥き出しであり耐久性に問題があった。一方、電気的な対策では本来聞きたい音まで一緒にカットすることになり性能的に劣るという問題があった。

【0006】 本発明は、以上のような諸問題点にかんがみてなされたもので、これらの各問題点を解決するための手段の提供を目的としている。

## 【0007】

【課題を解決するための手段】 このため、本発明においては、カメラ一体型ビデオカムコーダにおいて、撮影時にはマイクロホンの前を覆う部材となり、撮影時以外はレンズの前を覆う部材となる部材を有するよう構成することにより、前記目的を達成しようとするものである。

## 【0008】

【発明の実施の形態】 以下に、本発明の実施の形態を、複数の実施例に基づき、図面を用いて詳細に説明する。

## 【0009】

【実施例】 図1ないし図4は本発明に係るカムコーダの

1 実施例の説明図である。

【0010】 図1はカムコーダ本体の斜視図を表わし、1はカムコーダ本体で、1-Aはそのレンズ部、1-Bはそのマイク部を表わす。2は、本実施例のレンズキャップ部材である。図2は、レンズキャップ部2の斜視図であり、図3はその断面図である。

【0011】 レンズキャップ部2の構造はモールド等で構成され空気が流通するよう穴が数方所開いている部材、もしくは金属を金網状に編んで構成した部材2-Aと、スポンジ等の緩衝材やフェルト等の不織系を使った部分2-Bとから成る。部材2-Bは、図示していないが、部分的に接着等の手段により部材2-Aに固定されている。

【0012】 図4はその装着状態を表わし、使用者は、撮影しない時はレンズキャップ部2をレンズ部1-Aへ取り付け、撮影中はマイク部1-Bの前へレンズキャップ部2を付ける。取り付け時は、スポンジもしくは不織布部2-Bを若干押しつぶし変形するように寸法設定されているため、レンズキャップ部2が本体1より簡単に外れることはないように構成されている。

【0013】 （作用） 以上、説明したように、使用者は、撮影時にレンズキャップ部材2をマイク部1-Bの前に取り付けることにより、強風下の撮影でも風切り音に悩ませられることなく、また、レンズキャップ2の取り付け場所に悩ませられることなく撮影を行うことができる。

【0014】 （他の実施例） 図5、図6は、他の実施例を表わす。図5は、カムコーダ本体の斜視図であり、3は本実施例のレンズバリヤーである。図6は、レンズバリヤー部3の断面図であり、レンズバリヤー部3はモールド等で構成され空気が流通するよう穴が数方所開いている部材に、スポンジ等の緩衝材やフェルト等の不織系を使用した部分3-Aを接着等の手段により固定したもので構成されている。

【0015】 レンズバリヤー3上には凸部4が設けられていて、本体1上に設けられた凹部5と滑動可能に嵌合している。レンズバリヤー3は図示されていないがばね等の弾性部材により凸部4を押さえることにより、レンズ1-Aの前と、マイク1-Bの前とで保持される。

## 【0016】

【発明の効果】 以上、説明したように、本発明によれば、カメラ一体型ビデオカムコーダにおいて、撮影者は、それぞれレンズキャップもしくはレンズバリヤーをレンズ部もしくはマイク部前に選択的に取り付けることにより、撮影時の邪魔になることなく、また、マイクの風切り音防止に効果的に利用することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 1 実施例のカムコーダ斜視図

【図2】 レンズキャップ部の斜視図

【図3】 レンズキャップ部の断面図

【図4】 レンズキャップ装着時の断面図

【図5】 他の実施例の斜視図

【図6】 レンズバリアー部の断面図

【符号の説明】

\* 1 カムコーダ本体

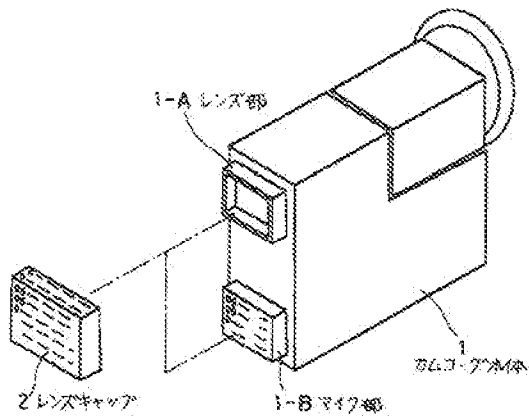
2 レンズキャップ

3 レンズバリアー

\* 2-B, 3-A スポンジやフェルト等の不織布

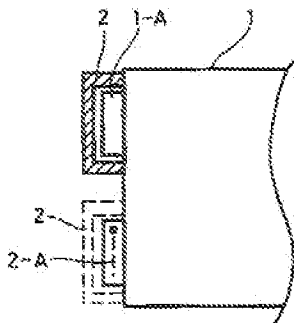
【図1】

一実施例のカムコーダ本体の斜視図



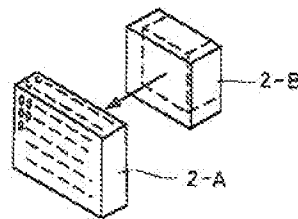
【図4】

レンズキャップ装着時の断面図



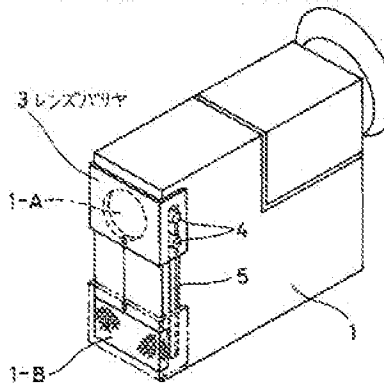
【図2】

レンズキャップ部の斜視図



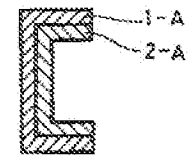
【図5】

他の実施例のカムコーダの斜視図



【図3】

レンズキャップ部の断面図



【図6】

レンズバリアー部の断面図

